

自律的な化学物質管理の進め方(基礎編)

～もう一度はじめからていねいに!～

近年、化学物質管理には「自律的な管理」が求められています。

こうした背景を踏まえ、愛知健康安全交流会では、2026年度も基礎編・応用編(11月)・総合講座(2月)の計3回を開催します。

本基礎編では、SDSの読み方やリスクアセスメントの基本を分かりやすく解説します。

今回は、中小企業の皆様にも受講しやすい内容としつつ、大手事業場における管理体制の見直し・再確認にもお役立ていただける内容としています。“もう一度、基礎からていねいに”見直したいすべての事業場の皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2026年7月31日(金)
13時30分～16時30分

参加費

無料

全国、どなたでも参加できます。

受講方法

会場受講

定員 70名

ウインクあいち 1201会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

WEB受講

定員900名

Zoom ウェビナー使用

・ご提供いただいた個人情報は、本セミナーの運営および関連情報のご案内以外の目的には使用いたしません。

お申込み

申込期限 7月24日(金)

お申込みはWEBでお願いします。

下記QRコード、またはHPよりお申込みください。

会場受講用



WEB受講用



HP <https://www.airouki.or.jp/training>

セミナー詳細

講義(13時30分～16時30分)

講師

宮崎労働安全衛生

コンサルタント事務所 代表

宮崎 剛匡 氏



講義内容

1 化学物質管理の全体像

- ・なぜ今「化学物質管理」なのか
- ・化学物質のリスクとは
- ・危険性と有害性
- ・リスクアセスメントの基本



2 中小企業で起こりやすい見落とし よくある例

- ・SDSを保管しているだけ/SDSを読んでいない
- ・化学物質リストがない/リスクアセスメント未実施
- ・保護具が適切でない

3 SDSの読み方(重点) SDSのどこを見ればよいかを解説

- 第2項 危険有害性の要約/■第4項 応急措置
- 第7項 取扱い・保管/■第8項 ばく露防止・保護具
- 第11項 有害性情報

4 リスクアセスメントの基本 進め方

- (1)化学物質の確認/(2)危険有害性の確認(SDS)
- (3)作業内容の把握/(4)ばく露の可能性/(5)リスク評価
- (6)対策の検討 CREATE-SIMPLEなどの紹介

5 中小企業でも導入しやすい管理方法

- (1)化学物質の洗い出し/(2)化学物質リスト作成
- (3)SDSの整理/(4)リスクアセスメントの実施

6 受講後に取り組むこと

- (1)自社の化学物質リスク作成
- (2)SDS確認
- (3)1物質でリスク評価